

# 工業から農業への貢献を考えるZ世代アプローチ

- ・工業高校の技術を農業分野とつなぐ出前講座・意見交換を行った。
- ・生徒から工業の強みを生かした農業アイデアが生まれ、関心と意欲が高まった。

## ○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、その他(生産振興・技術対策)、担い手

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

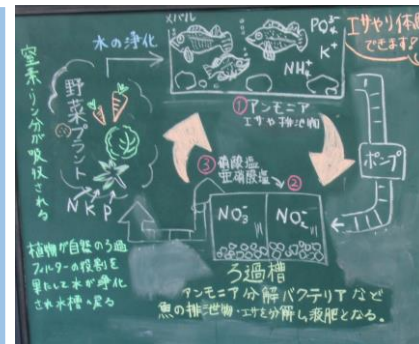
県拠点が東岡山工業高校のアクアポニックス研究を取材したことを契機に、同校の学生チャレンジ応募とともに、学校側から、工業を学ぶ学生に農業及び農業分野における工業の有用性に係る講義の依頼があり、Z世代のアプローチとして出前講座を実施。

## ○ 取組の内容

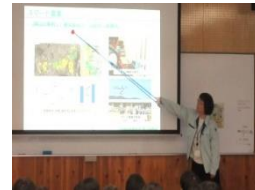
県拠点からみどり戦略、担い手不足、スマート農業など農業の現状と技術の可能性を説明し、その後、生徒は工業から農業への貢献やアクアポニックスの未来をテーマに班別で討議した。これらを通じ、工業と農業の繋がりへの理解が深まり、最後に肥料開発、ロボット化、アクアポニックス高度化など実践的な技術の提案があった。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

- ・生徒が「農業＝別分野・他人事」から「自分たちの工業技術が直接役立つ分野」への理解が図られ、自らの学びに繋がった。
- ・学校側から継続実施の要望があり、今後は共同研究、課題研究、現場見学など、工業と農業の連携深化を期待するとともに、新たに高専や工業系専門学校との連携などの横展開を図る。



アクアポニックスとは、魚の養殖と植物栽培を循環させて同時に行う持続型農業システム



授業風景 (上)  
意見討議 (下)

## 体制図

工業 × 農業

